

経済経営学類

令和7年度 学校推薦型選抜 小論文

資料は、佐藤主光『日本の財政—破綻回避への5つの提言』(中公新書, 2024年)からの抜粋である。これを読んで、以下のすべての問題に答えなさい(引用にあたり、原典中の小見出しを省略した)。

問題1 筆者は国の借金(=国債発行)を、「良い借金」と「悪い借金」に分けて論じている。筆者の言う「良い借金」と「悪い借金」について、それぞれの特徴を対比しながら300字以内で説明しなさい。

問題2 国債を財源として政府が国民に給付金を支給したとしても、「リカード=バローの等価定理」が成立するもとの消費は変化しない。その理由を、資料を参考にして300字以内で説明しなさい。

問題3 筆者の説明を踏まえたうえで、あなたは政府の国債発行を通じた財政活動の望ましいあり方をどのように考えますか。400字以内で述べなさい。

- ・ 解答は横書きとする。
- ・ 句読点や空白も字数に含める。
- ・ 算用数字やアルファベットは1マス2字とする。

この部分に記載されている文章については、著作権法上の問題から公表することができませんのでご了承ください。

この部分に記載されている文章については、著作権法上の問題から公表することができませんのでご了承ください。

令和7年度入学試験 小論文「出題意図」

(入試情報公開用)

経済経営学類 学校推薦型選抜

資料は、佐藤主光『日本の財政－破綻回避への5つの提言』（中公新書、2024年）である。

問題1と2では、資料の論旨を正確に読み取る理解力、それを整理する思考力、および文章化する表現力をみることを意図している。

問題3では、資料の論旨を理解した上で、自分の考えを総合して文章化する能力、表現力をみることを意図している。